

# ユーモアスピーチ船橋

2018 (H30) 年 2 月 8 発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

142 回船橋ユーモアスピーチ

2018 年 2 月 8 日 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「自由題」

新春かくし芸大会

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘  
5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」  
船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

1 月 11 日の参加者：石渡、松本、大塚、山中、田谷、松永、中島、関岡、飯野、原田、山岸、早瀬、町田、入江、はらだま、工藤、植野、長嶋 18 名

2 月 8 日の船橋ユーモアスピーチの会

「スピーチの会」 14 時～ 中央公民館 (三咲スピーチの会)

「かくし芸大会」 15 時～ 中央公民館

ロングスピーチ

「明治維新」

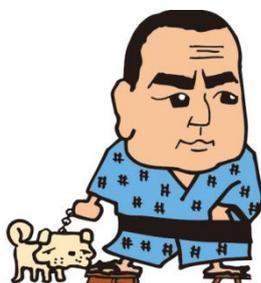
中島 孝之さん

ペリーが 4 艘の黒船で浦賀に来航したことから明治維新が動き出した。力の衰えた徳川幕府は大騒ぎ、翌年「日米和親条約」を調印して下田と函館を開港する。4 年後「日米修好通商条約」を天皇の許可を得ないで調印する。これを契機に尊王攘夷運動が高まる。薩摩と長州が中心になって旧幕府軍との争いの後、徳川慶喜は大政奉還を行い天皇に土地と人民をお返しする形になった。

新政府軍と旧幕府軍との戊辰戦争の混乱はあったが、版籍奉還、廃藩置県をへて中央集権の国家が成立した。学制が公布され国民平等の公教育が行われ、徴兵令を布いて 20 歳以上の男子に 3 年間の兵役に就かせ、西南戦争の勃発という抵抗はあったが、明治 10 年に終結して明治維新は完了した。

明治 22 年に第日本帝国憲法が公布され、27 年に日清戦争に勝利し世界最強のロシアにも日露戦争を勝利して、世界中の列強に抑圧された民族に独立への希望を与えた。

黒船来航から 37 年で世界の列強に肩を並べる地位になり、太平洋戦争の過ちはあったが日本中の都市が焼き尽くされた所から 19 年後に東京オリンピックを開催し世界第二の経済大国にした日本民族の底力は、明治維新の成功によるものといえる。



**3 分間スピーチダイジェスト テーマ「今年の抱負」**

**工藤文夫**：「デパートよ、つぶれないで！！」

私の小さな夢として、デパートの最上階（地下ではなく）のレストランで、女房以外の人と食事をする事です。ところが千葉市内の商圈の変化で、夢の実現が不可能になる現象が昨今、生じて参りました。昨年、9 月末に千葉の中心部にあった「パルコ」が閉鎖。そしてまた、あの伊勢丹と一緒にあった、天下の三越千葉店までもが閉店しました。人口減少もしていないにもかかわらず相次ぐメイン施設の閉店の原因は「JR 千葉駅」の改装工事によるものです。もう 5 年以上も工事が続いており、つまらないどこにもあるペリエ+インスタ映えするショップになりそうです。夢の実現の為には、千葉市では唯一のデパートとなった「そごう千葉店」にもうひと踏ん張りしていただきたいと思う今日このごろです

**田谷正明**：「今年の抱負」

昨年、70 歳になるのを機に家族から車の運転を止めるよう強く求められた。そして永年、乗っていた“真っ赤なポルシェ”も売られてしまい、毎日ひたすら歩いています。散歩の時に大勢のジョギングを楽しむ人々を見掛けます。20 年程前にフルマラソンをしていた自分にはとても美しいものに見えます。新年早々、ちょっと走って見ましたが 200m も行かないうちに息が切れてしまった。でももう一度、5 km でもいいから大会で走ってみたい。来年を目標に頑張ってみます。

**山岸哲男**：「今年の抱負」

成人の日の朝日新聞「天声人語」欄に「野心」と「努力」の話が載っていました。今年の抱負を「野心を持って努力する」ということにしようと決心しましたがやめました。今まで「野心」を度々持ちましたが、上手く行ったり大失敗になったこともある。「努力」もしましたが上手く行ったりダメになったり。泰平の逸民となった身では「野心」といってもせいぜい落語を上手になるくらいです。「努力」といってもせいぜい稽古をもっと一所懸命にするくらいです。ということで、今年の抱負は何にしようかと考えました。考え過ぎたせいで右目が真っ赤になってしまいました。慌てて目医者さんに。結膜下出血とのこと。「血眼（チマナコ）」になって頑張っても結果はゼロです。そこで「今年の抱負」は「野心を持たず努力もせず」にしました。

**町田雅和**：「今年の抱負」

今年の抱負は「笑いの多い 1 年にして世界平和に貢献する」です。（大風呂敷を広げました）まず笑いを増やすには、楽しい所へ出かける回数を増やします、ユーモアスピーチの会、寄席、美術館、テニスコートなど、また昨年のカンボジア旅行で東洋のモナリザという彫刻を知り、女性の微笑みは洋の東西を問わず、世界平和に貢献すると気づいたので、小ばなしやマジックを通して身近にいる女性に微笑んでもらう努力をします。



山中 昇：「今年の抱負」

- ・ 12/31-01/02 の年末年始は寺社巡りを堪能した (石山寺、三井寺、比叡山延暦寺、高野山、薬師寺、唐招提寺、東大寺、春日大社)
- ・ 薬師寺の法話が印象的だった
- ・ 年末年始の祈願で一番多いのは「幸せ」ではなく「健康」
- ・ これだけ医療が発達し、毎年祈願しているのに効き目がないことを示している
- ・ 薬師如来の力は広大無辺で、誰にも均等に伝わるが、そのご利益は受け手のキャパシティで決まる
- ・ だから、我々は、日々の精進の中で、受け取る力を拡大しなければならない
- ・ 昨年からヨガの修練を続けたことで元気・健康・幸せになったが、今年はさらに大きく成長していきたい

早瀬君子：「今年の抱負」

私は多分傍から見ると、何不自由なく幸せそうに見えるかもしれませんが、実は“鬱状態” 一歩手前の日常を過ごしています。その要因は心臓疾患の老犬の介護で自由な外出も儘ならなくなり、飼い主である息子は仕事の関係でほぼ不在状態、リタイア後の夢だった“自由な日常” が叶わずに終わってしまうことへのストレスの鬱積にあります。好きな映画鑑賞や友人との食事やお喋り、旅行などを楽しみにしていたが、正に老々介護になってしまい、それらの全てが叶わない内に私の人生も終わってしまうのでは…と考えると鬱々としてしまいます。今年は「まあ、いいか」と呟くことで、もう少し楽な気持ちで毎日を過ごしたいと思っています。皆さまのスピーチで笑わせていただくことが楽しみで、ストレス解消になっておりますので本年もどうぞ宜しくお願い致します。

飯野 望：「今年流行る AI スピーカー」

AI スピーカーは、簡単な会話、家電のスイッチ、自動送信メール等ができるそうです。

株はおもちですか？・・・株は野菜です。

優しい言葉は？・・・・弱酸性

希望の言葉は？・・・・3連休

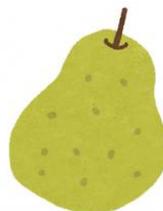
メール送信は？・・・・違う相手に送ってしまった！！

今年も思いやられます。



入江清之：「今年の抱負」

私の今年の目標の①：今年70代最後なので、このまま80代を元気に迎えるため心身の健康ファーストに励む。この実現には身体面では6、000歩/日以上ウォーキング&筋トレなど又精神面のケアではボランティア活動やこのユーモアスピーチ会などでの70の手習いそれに友人や仲間などとのコミュニケーションなどを行う。②：我々夫婦は今年金婚式なので女房とフルムーン旅行で国内の鄙びた温泉へ行き、互いに萎びた老体に溜まった積年の人生の垢を洗い流す。③：数十年前の我が巨砲(巨峰)も今ではラフランス状態で、即ち洋なしなので、これからは女房とはプラトニックラブで喜び、楽しみ&悲しみなどを共有する



**中島 孝之：「今年の抱負」**

今年の抱負は特にないのですが、女房と流山の生涯学習センターで月に2回やっている歌声サロンに行っています。昔の歌声喫茶と同じでエレクトーンに合わせて80人くらい集まった客が歌うのです。昨年12月最後の会で同じ会場でスケッチ画の展覧会があり、今年の1月末から10回の講座が有るのを知りました。柏市民でも参加できるというので申し込みました。自己流で旅先などで描いていたのですが、スケッチした方が写真より思い出に残る気がするので楽しみにしています。

**植野晏生：「アクティブラーニング」**

10年ごとに学習指導要領が改定されます。今度の核はアクティブラーニング。知識の詰め込みから知識の活用へ。「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」を身につける学習をめざすそうです。課題の1は、教員不足・多忙化・スキル不足です。もう一つの課題は、横文字・片カナが日本の法律と馴染が悪いこと。そのため「主体的・対話的で深い学び」という表現になるかも。

**原田公平：「今年の抱負」**

今年は平成30年、1989年1月7日、その前日から得意先の新年会で伊豆長岡温泉にいた。朝、露天風呂で隣の人から「昭和天皇の崩御」を聞く。翌日から平成が始まった。平成元年から15年までが会社生活の終盤、波乱万丈だったが、ハッピーエンドで締めくくり、61歳で退職。即実行したのが「アメリカ一周の鉄道の旅」、この「大冒険の旅」がボクの退職後の生き方の土台となる。それから15年、いつしか75歳になり、平成の30年間は自分にとって最高に生きた期間を実感する。中でも平成17、ビジネス誌「プレジデント」にボクの1ヶ月の過ごし方が掲載された。会社時代、ボクの考え方や生き方は周囲に理解されてなかったのが、会社の後輩にボクの生き方のメッセージを発することができた。一方、この間、膨大な量のエッセイを書いてきた。しかし、自分史を書こうなんて思ったことはないが、「平成30年」を聞くと、自分のもっともイキイキ生きた30年間は、文字で残したくなった。今年の抱負は、「自分の生きた平成30年間を書く」です

**松永成三郎：「今年の抱負」**

「一年の計は元旦にあり」と昔から言われていますが、私の記憶では年頭に当たって何か一念発起して事を始めたという記憶がありません。たまたまスピーチの課題が「今年の抱負」を語れということですので、改めて考えました。

この一二年しきりに人生百年という時代に入って、いろいろな社会の仕組みをそれなりに立て直す必要があるということが話題になっています。

幸い私もついに八十歳台も半ばを超してきました。思いがけず生命保険の還付金も有ったりで、昨年初めから計画し7月に着工、年末のぎりぎりですべて完成したリフォームでお正月を迎えることになりました。新しい設備・機器類のマニュアルが厚さ5センチを越えます。一通り目を通すだけでも大変ですが、うまいことに今の機器の操作には、大体人工音声が付いてきます。ま、それになれるのも良いかと思っている昨今です。

あえて今年の抱負となれば、やはり今与えられている健康寿命を大切に、頭から足の先まで神経を張り巡らしていくことを先ず一番に考えます。皆様宜しく願い申し上げます。

**山田正國**：「年の初めに思うこと」(欠席届に代えて) 欠席スピーチ

年賀状相手の賀状受け取ってから返事を出すと、近況が判ってこちらも対応した返事を書き添えることができ、有効利用だと思う。若いころは元旦に届かないとあいてを軽視したように思われると思い 受け取っていても 礼の言葉も書き添えず、行き違いの振り、でなにも添え書きなし、投函したことが多かった。今は本当の便りが欲しい。だから 上記の方式もよろしい。これもこちらが高齢になり 殆どが年下相手になったから、欠礼も許されているのかもしれない。

**関岡直樹**：「今年の抱負」

「老いてこそ楽しく」をモットーに夫婦で遊んでいると、賀状で近況報告を述べました。歩くことが好きなので、東京や千葉の都市公園を楽しみ、地元の谷津干潟は去年は76回参りました。他には旅行や食べ歩き、氣功や小瀬サロン参加などですが、今年もこれを続けます。ただ中島さんの「明治維新を考える」のスピーチを聞きまして、素晴らしい先人が輩出して今日の日本の基盤を築いていただいたから、こんな能天気な抱負が言えるのだ！と感じました。先人に感謝！！

**長嶋秀治**：「今年の抱負」

宇宙船に滞在している金井さんの身長が9cm伸びたと報道があったが、実は2cmの間違いだった。いずれにしろ伸びるのはいいことで私は年々縮んでいる。加齢で仕方がないが、努力して補えるものは補っていきたいと思っている。今年の抱負の第1は何と言っても健康。健康法はアル中(歩き中毒)を継続し、山登りを続けること。第2に絵の時間を確保すること。第3に今取り組んでいる山の自分史「山ある記」を進めること



**予告：3月船橋ユーモアスピーチの会**

3月8日(木) 14時 ニッセイプラザ1階 会議室

ロングスピーチ 早瀬さん「故事ことわざの現代風解釈」

山田さん「手術体験記」

テーマ「脳トレ」、「調味料」

☆スピーチダイジェスト送付先(1週間以内に) [mac555new@ybb.ne.jp](mailto:mac555new@ybb.ne.jp)

**【今月の小咄】**

日本で最初に洋式トイレが入ったところは、あの吉原なんですね、花魁が言っていました、「わちき(和式)は嫌であります」

